

**第33回維持管理・環境管理専門委員会**  
**第5回H30年度イベント実行委員会**  
**議 事 録**

●日時：平成30年11月15日（木）9：30～11：30

●場所：上尾市文化センター 205多目的室

●資料

資料-1. 前回の議事録

資料-2. H30年度イベントについて

資料-3. H30年度の維持管理活動について

資料-4. H30年度の工事について

資料-5. マーケットリサーチについて

資料-6. 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」修正方針（案）

参考資料-1. H30年度の維持管理活動・イベントスケジュール

**【議事結果】**

- ① 休日にイベントと維持管理作業をあわせて実施するのは難しい。H31年度も、原則、イベントは休日、維持管理作業は平日に実施することが望ましい。次回以降の委員会及び2月6日巡視時に検討する。
- ② 来年度のイベントの頻度は、今年度並みとし、運営を省力化していけるよう検討していく。また、SNS等を用いた効率的な広報の仕方を広報ワーキングで検討していく。
- ③ 2月6日の巡視後は、下池整備地にハンノキの移植を行う。
- ④ 1月26日に生涯学習団体の会議があり、川島委員が講義をする予定である。そこで太郎右衛門自然再生地を紹介していただく予定である。
- ⑤ エコプロ2018訪問時の配付資料（案）の地図は、圏央道の延伸を考慮し修正する。
- ⑥ 今後、堂本委員長と事務局でT小学校を再度訪問する予定である。
- ⑦ 中池管理方針（案）を了承する。企業等へのプレゼン資料は、引き続き作成を進める。
- ⑧ 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」は修正方針（案）のとおり、修正を進める。

## 【主な議事内容】

### ●前回の議事録について

(質疑応答なし)

### ●H30年度イベントについて

- ・ 10月13日の秋イベントの実施状況、収支報告、アンケート結果を確認した。
- ・ 11月23日の川島町農業商工祭、12月8日の中池散策・写真撮影イベントの詳細や分担を確認した。
- ・ 今年度試行している中池散策・写真撮影イベントは、実績として人が集まっていないため、H31年度の実施回数は、今年度と同等か減らすこと、さらに省力化して実施することを検討する。
- ・ イベント実施に関わらず、常に情報発信することが重要である。SNS等によるさらなる効率的な広報のあり方を、広報ワーキングの方で議論したい。

### ●H30年度の維持管理活動について

- ・ 9月5日、10月11日の維持管理活動実施状況を確認した。
- ・ アレチウリは、太郎右衛門地区で増加しているか。
  - ここ10年程度は変わらず多いままである。感覚的ではあるが、年によって繁茂場所が変わるものの、全体としては極端に増えたようには感じられない。
  - 窒素が多い場所や洪水時の水位が高かった場所等で繁茂しやすいと考えられる。
- ・ 休日にイベントと維持管理作業をあわせて実施することは、委員の負担と事務局の人員確保の観点から難しいと考えられる。H31年度も、原則、今年度と同様に、イベントは休日、維持管理作業は平日にそれぞれ行うのが良いと考えられる。イベントについては、省力化を検討していく。
- ・ 2月6日の巡視後は、下池整備地にてハンノキ移植作業を実施する。

### ●H30年度の工事について

- ・ 環境への配慮方針に基づいて工事が行われていることを確認した。
- ・ 自然再生事業の工事を受注する可能性のある施工業者に、協議会への参画を呼びかけることも考えられる。受注の有無に関わらず、協議会に参加いただくことで、自然再生事業の工事に関する知見を深めてもらうことに繋がると考えられる。
- ・ ゴマギの移植場所に侵入していたマダケは、工事の際に駆除したか確認する。
- ・ 協議会委員であることを施工業者に伝えれば、下池の工事現場に入ることできる。

### ●マーケットリサーチについて

- ・ 今後、堂本委員長と事務局でT小学校を再度訪問する予定である。
- ・ 1月26日に埼玉県環境科学国際センターにて、生涯学習団体のフォローアップ会議があり、川島委員がコウノトリ等について講演する予定である。その際、太郎右衛門自然再生地についても紹介予定である。都合がつく委員、事務局は聴講していただきたい。

- ・ 先日、北本自然観察公園に都内からの日帰りツアー客が来園した。この来園は、工場見学や工作体験と組み合わせたツアーの一環であり、旅行会社が企画や当日の引率等を行っていた。
  - ・ 太郎右衛門自然再生地でもこれと同様のことができれば良い。例えば、本田航空や埼玉県防災航空センターに協力いただき、ヘリコプター等を活用した防災教育と、除草体験等ができる環境学習を組み合わせたイベントが考えられる。このような切り口で旅行業者にアプローチし、日帰りツアー等を企画してもらえると良い。
  - ・ エコプロ2018の配付資料（案）の地図は、圏央道が延伸されていないままなので修正する。
  - ・ 中池管理方針（案）を了承する。プレゼン資料は、引き続き作成を進める。
- 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」修正方針（案）について
- ・ 修正方針（案）のとおり修正を進める。
  - ・ 意見照会の際は、A4版の修正（案）とA3版の新旧対照表を1部ずつ送付する。
- その他
- ・ 今後のスケジュールは、参考資料-1のとおりである。

以上